



Title	広報としての機関リポジトリ
Author(s)	加藤, 大博
Description	『北海道地区大学図書館職員研究集会記録』誌 (49号) にも掲載 http://ambitious.lib.hokudai.ac.jp/dotoken/
Relation	第49回北海道地区大学図書館職員研究集会 (札幌国際大学, 8/18)
Issue Date	2006-08-18
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/14589
Rights(URL)	https://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/2.1/jp/
Type	lecture
File Information	060818kenkyu_shukai.pdf, 配布資料 (2 slides/p. ver.)



広報としての機関リポジトリ

北海道大学附属図書館 加藤大博

06/08/18

HUSCAP:
<http://eprints.lib.hokudai.ac.jp/>

1

誤解を解くことから

- × 機関リポジトリの広報
- 広報としての機関リポジトリ

もっと言うと、

大学広報としての機関リポジトリ
図書館広報としての機関リポジトリ

- 北大の機関リポジトリ(HUSCAP)をどう広報したか、ではなく、HUSCAPを広報という視点で捉えてみよう

06/08/18

HUSCAP:
<http://eprints.lib.hokudai.ac.jp/>

2

その前に機関リポジトリとは

いろんな定義があるが、やっていることは…

- 論文や講義ノート等の学内生産文献を(電子ファイルで)収集し、インターネットで公開する

- 今までの図書館の仕事の延長線上
- 紙媒体が電子媒体になっただけ

06/08/18

HUSCAP:
<http://eprints.lib.hokudai.ac.jp/>

3

作者に、閲覧者に、ついてくる利益

リポジトリ用のシステムを使っているので…

- 全文検索できたり
- 文献ダウンロード数(人気)が分かったり
- 学部ごとにひとまとめに蓄積できたり

- 図書館が公開・保存の作業を代行してくれたり
(北大の場合は)

06/08/18

HUSCAP:
<http://eprints.lib.hokudai.ac.jp/>

4

じゃあ広報って

- 広報 = PR = *Public Relations*
= 「公共的關係」??

 - 日本語の「広報」: 情報を知らせる、開示する
 - 英語の“PR”:
 - 人々とのつながりを作る
 - 社会との関係が良好になるよう働きかける
- 受身でない、積極的・戦略的な「攻め」の活動

06/08/18

HUSCAP:
<http://eprints.lib.hokudai.ac.jp/>

5

「広告」とは何が違うの？

例えば新聞で何か広めよう！と思ったら…

- 広告: 何十万もの広告料を払って小さな広告記事

 - 広報: プレスリリースを出し、取材に来てもらい記者会見
 - 記者に興味を持たせれば大きな記事で解説つき
- 使うのはお金でなく、知恵とパフォーマンス

06/08/18

HUSCAP:
<http://eprints.lib.hokudai.ac.jp/>

6

HUSCAPの活動

理解と文献提供のお願いのために・・・

- チラシ、説明会
 - 研究室を直接訪問してお話
 - 「この文献くれ」と(指定して)メール
 - ダウンロード数をメールでお知らせ
- etc...

06/08/18

HUSCAP:
<http://eprints.lib.hokudai.ac.jp/>

7

活動結果

- 説明会には来てくれない(忙しい！)
 - でも訪問すると長々お話できる(議論好き?)
 - 突然「文献くれ」メール送っても大丈夫
 - ダウンロード数はファイルごとに分かるので・・・
 - 「予想以上に閲覧回数が高いことに驚きました」
 - 「読者の動向が分かり、有用です」
 - 「閲覧回数分かることは大変励みに」
 - 「これからも手応えのある論文は送ります」
- 喜びの声etc...

06/08/18

HUSCAP:
<http://eprints.lib.hokudai.ac.jp/>

8

喜びの声を広報的に見してみる

- 広報って？ = 「人々とのつながりを作る」
 - 研究者と図書館とのこれまでのつながり
 - いち利用者とサービス提供者
 - 館長や委員ならば、経営者と従業員いずれも、あまり深い・積極的な関係じゃない
 - 明示的な感謝・感動の声
 - 隠れたニーズを掘り起こした実感
- 紛うことなき「成功」そして「深い関係」を築いた！

06/08/18

HUSCAP:
<http://eprints.lib.hokudai.ac.jp/>

9

勝って兜の緒を締めよ

かつてない具体的な成功体験に酔いそうに

- 現状維持に拘泥
- 安全策
- 視野狭窄
- 楽観視
- 迎合、おもねり

になっではいけない

「洗練」「開拓」「高度化」...

06/08/18

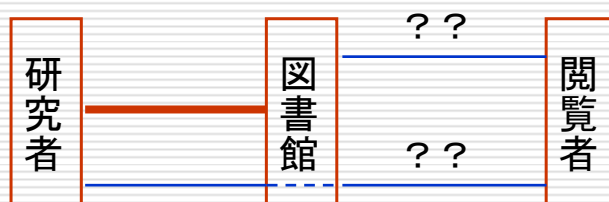
HUSCAP:
<http://eprints.lib.hokudai.ac.jp/>

10

例えばその他の「関係」

「研究者と図書館」の関係は強化された

- 図書館と(HUSCAPの)閲覧者は？
- 研究者と閲覧者は？



06/08/18

HUSCAP:
<http://eprints.lib.hokudai.ac.jp/>

11

閲覧者とのつながり

- 新着情報(RSS)
 - 高ダウンロード数ランキング
 - ソーシャルブックマーク
- etc...

直接的な反応は少なく、積極的強化の余地あり



- 研究者と閲覧者のコミュニケーションの創出
 - 「北大図書館」というブランディング・認知
- 信頼の獲得

06/08/18

HUSCAP:
<http://eprints.lib.hokudai.ac.jp/>

12

図書館活動を振り返ってみる

いろいろあるけど…

- 資料と読者を結びつける

「資料の作者と読者を結びつける」ことでもある



- 図書館活動 = 資料の、作者の、広報係
 - 実は身近な考え方
- 機関リポジトリとの共通性も見える

06/08/18

HUSCAP:
<http://eprints.lib.hokudai.ac.jp/>

13

ということは

- 企業の広報術を図書館全般に応用できるのでは？
 - 既存サービスへ適用するには時機を逸した感

機関リポジトリは絶好の題材
図書館活動＝「広報」実践の一環と捉える

- 学内成果物なので「大学広報」にもなる

06/08/18

HUSCAP:
<http://eprints.lib.hokudai.ac.jp/>

14

何を使って機関リポジトリ？

北大は論文が多いけど…

- 「ウチは教育重視だ！」
なら教材や講義ノート多めでも
 - 「学生活動が盛んだ！」
なら学生の作ったものでも
 - 「この分野が強みだ！」
なら特定分野のみでも
- 自分の大学の美点を再認識するきっかけに

06/08/18

HUSCAP:
<http://eprints.lib.hokudai.ac.jp/>

15

機関リポジトリの応用

例えばこんな新サービス：

『製本サービス』

- (実費のみで)個人著作集の作成
- 閲覧者の選ぶ名著論文集の作成
- ネット環境の不十分な発展途上国に無償送付

アナログで分かりやすく、マスコミにもアピールしやすい

06/08/18

HUSCAP:
<http://eprints.lib.hokudai.ac.jp/>

16

いわゆるサービスといわゆる広報と

- 「今はサービス向上のほうが優先」論
 - 向上したサービスが広まらなかったら？
 - 「いいサービスは勝手に広まる」という幻想
 - 広まらなると広い意見・評価がもらえない
 - 評価がないと改善もしにくい
 - 手前勝手な「向上」は本当にサービス向上か？

車の両輪、どちらも欠かせないもの

まとめ

- 広報 = 人々とのつながりを作ること
- 図書館活動 = 資料・作者の広報係
- 「広報」実践の場としての機関リポジトリ
- サービスと広報(宣伝)は車の両輪
- 信頼の獲得へ

以上、北大図書館とHUSCAPへの自戒を込めて